

2022～2023 年度



# THE ROTARY CLUB OF KOSHIGAYA NORTH

## 越谷北ロータリークラブ

例会日:毎週水曜日 12:30～13:30

例会場:越谷市千間台東インペリアルビル 4 階

T E L 048(975)9898

F A X 048(977)3741

創 立:1976 年 5 月 11 日

会 長 : 大 島 直 幸

副 会 長 : 長 谷 川 真 也

幹 事 : 江 口 公 晴

会報委員長 : 櫻 井 保 彦

### 第 2246 回 例会記録 No. 7

令和 4 年 8 月 31 日

司会: 高橋 忠克 編集: 近藤 慎悟

#### 会次第

1. 点鐘
2. ローターソング 「手に手つないで」
3. ローターの目的
4. 会長挨拶
5. 幹事報告
6. 3 分間ロータリー情報
7. 部門セミナー報告

青少年奉仕部門  
ロータリー財団部門  
米山記念奨学部門

#### 8. 出席報告

【次回例会案内】 令和 4 年 9 月 14 日

クラブビジョン・戦略計画唱和

3 分間ロータリー情報

外部卓話

卓話者: 幸手ロータリークラブ 小山 寿行 様

#### 会長挨拶



大島 直幸 会長

先週のガバナー公式訪問は皆様のご協力をおもちゃ  
して無事終了しました。ありがとうございます。

明日 9 月 1 日は防災の日です。防災の日は 1960  
年(昭和 35)年 6 月 17 日に内閣の閣議了解により制  
定されました。そして、1982 年(昭和 57 年)5 月 11  
日に防災の日と防災週間が閣議了解されました。

#### ■「防災の日」及び「防災週間」について

- 1 政府、地方公共団体等防災関係諸機関をはじめ、  
広く国民が、台風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、  
津波等の災害についての認識を深めるとともに、こ  
れに対する備えを充実強化することにより、災害の  
未然防止と被害の軽減に資するため、「防災の日」  
及び「防災週間」を設ける。
- 2 「防災の日」は、毎年 9 月 1 日とし、この日を含む 1  
週間を「防災週間」とする。
- 3 この週間において、防災知識の普及のための講演  
会、展示会等の開催、防災訓練の実施、防災功労



者の表彰等の行事を地方公共団体その他関係団体の緊密な協力を得て全国的に実施するものとする。

4 『防災の日』の創設について(昭和 35 年 6 月 17 日閣議了解)は、廃止する。

防災の日が 9 月 1 日になった理由は、関東大震災にちなんだものです。関東大震災は 1923 年(大正 12 年)9 月 1 日 11 時 58 分 32 秒に発生しました。

最大震度 7、死者・行方不明者 10 万 5 千人。内訳は火災による焼死・窒息死 9 万 2 千人、建物の倒壊等による圧死 1 万 1 千人、他。全壊 11 万棟、被害総額は現在価値に換算して 320 兆円。津波は静岡県熱海市で 12m、千葉県相浜で 9.3m、神奈川県三浦で 6m。揺れは 10 分以上続いたそうです。

関東大震災は実は三つ子地震で、11 時 58 分 M7.9 神奈川県西部、12 時 1 分 M7.2 東京湾北部、12 時 3 分 M7.3 山梨県東部で連続して発生しました。

首都直下型地震や南海トラフ地震の発生確率も上昇しているそうですので、これを機に自宅や会社の日頃の備えを確認してみてください。

### 幹事報告



江口 公晴 幹事

・地区より、RLI 開催案内が届いております。パート 1 は 12/10、パート 2 は 1/21、パート 3 は 2/13、いずれも大宮ソニックシティにて開催予定です。参加ご希望の方は幹事までお申し出ください。

### 表彰 ポール・ハリスフェロー

- 1 回目 櫻井 保彦 会員
- 2 回目 丸林 綾子 会員 ・ 新沼 徹 会員  
川島 徹 会員
- 3 回目 今井 英治 会員

### 3 分間ロータリー情報



中村 隆雄 会員

「創立 60 周年記念式典で 100 歳感動のタクト」

(引用:ロータリーの友 8 月号より)

相模原ロータリークラブ(RC)の創立 60 周年記念式典が 5 月 15 日、田島透ガバナー(当時)、本村賢太郎相模原市長ら大勢の来賓を迎え、市内で開催されました。私たちのクラブは、茅ヶ崎 RC をスポンサークラブとして 1962 年に 27 人で発足、現在は 72 人の会員を擁し、会員増強・維持に努めています。

この式典で、ひときわ会場の注目を集めたのが、ソングリーダーを務めた佐藤清一会員。今年 4 月 14 日に満 100 歳を迎えられた、当クラブはもとより本地区で最高齢のロータリアンです。「君が代」「奉仕の理想」の斉唱の際、ソングリーダーとして登壇し、ピアノの生演奏に合わせて佐藤会員のタクトが華麗に舞うと、会場はその姿に魅了され、大勢の出席者が雄姿を記録しようとカメラを向けていました。

佐藤会員は昭和 51(1976)年に入会、1988-89 年度には会長を務めています。一級建築士として活躍し、設計事務所を経営する造詣が深く、通常例会でもしばしばソングリーダーとしてタクトを振り、後進の指導にも当たっています。また、歌人としても著作があり、



『ロータリーの友』歌壇コーナーの常連です。

100 歳を迎えた現在も多方面で活躍される佐藤会員は、若手会員の尊敬と憧れの存在であり、当クラブに欠くことのできない財産です。今後もますますお元気で現役のロータリアンとして活躍され、ぜひ創立 70 周年記念式典でもソングリーダーとしてタクトを振っていただきたいと、会員一同願っております。

なお、当クラブには佐藤会員を含め、在籍 30 年以上の会員が 6 人います。記念式典ではクラブ功労者として松岡忠義会長(当時)から感謝状と記念品が贈られていました。近年、当クラブには 30~40 代の若手会員が多数入会しており、30 代から 100 歳まで幅広い世代の会員が在籍していることがクラブの特色・魅力の一つとなっています。

#### 部門セミナー報告



青少年奉仕部門 高橋 忠克 副委員長

7 月 23 日、上尾を会場としてローターアクトの報告と RILA(ライラ)の沖縄事業の報告がありました。また、今後の予定は未定との事でした。



ロータリー財団部門 川島 徹 委員長

7/30(土)大宮パレスホテルにて 3 年ぶりのリアル開催で行われました。まず始めにポリオ・プラス活動、ポリオの現状のお話です。

ポリオがまだ存在する国(常在国)はアフガニスタンとパキスタンのみとなっていますが、その他の国々でもポリオのない状態を維持していく必要があります。ポリオ根絶活動を今やめてしまうと 10 年間のうちに毎年ポリオによって身体まひとなる子どもたちが 20 万人になると予測されています。

#### ■数字で見るポリオ根絶

3ドル	一人の子どもをポリオから安全に守るための平均費用
4億3,000万人	2017年に39カ国で予防接種を受けた子どもの総数
1億ドル	世界的なポリオのサーベイランス(監視)にかかる費用

皆様からのご支援は、ポリオ根絶活動に必要なワクチンの購入や配送、資材等のために生かされます。ポリオについてより良く理解し、地域社会でポリオの話題を広げましょう。そして多くの子どもたちがいまだにポリオの危険性にさらされていることを知りません。ポリオ根絶の重要性を伝えましょう。と言うお話がありました。

続きまして基調講演として「ロータリー財団の使命」がありました。現状、ロータリー財団の使命は、ロータリー会員が人びとの健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保全に取り組み貧困をなくすことを通じて世界理解、親善、平和を構築できるよう支援することです。

#### ■ご寄付が世界にもたらす影響

- わずか 60 セントで一人の子どもをポリオから守ることができます。
- 50ドルで水を介する疾病から人びとを守るために安全な水を提供することができます。



・500 ドルでいじめ撲滅キャンペーンを立ち上げ子どもたちに安全な環境を作ることができます。

100 年以上も前に創立されて以来、ロータリー財団は、教育の支援や持続可能な成果を生み出すプロジェクトに総額 40 億ドル以上の資金を提供してきました。一つひとつのご寄付により世界中の地域社会を少しずつ変えていくことができます。などのお話がありました。

RI 日本事務局財団室についてでは事務局の仕組みなどの説明があり大口地区補助金のアドバイスなどのお話がありました。

前年度の財団実績報告、PHS 認証状授与、財団奨学生体験のお話があり 2 時間半の中身の濃いセミナーでした。報告は以上となります。



米山記念奨学部門 小林 操 委員長

8 月 7 日(日)さいたま新都心の The Mark Grand Hotel で米山記念奨学部門セミナーが開かれました。越谷北ロータリークラブからの出席者は、奨学生の王学朋さんと米山奨学記念委員長の小林操の 2 名でした。

プログラムは細瀬雅邦ガバナーの点鐘で始まり、島村健米山記念奨学部門委員長の地区役員紹介、挨拶、井原實米山記念奨学会常務理事挨拶に続き、増進委員長、学友選考委員長の諸説明、基調講演としてよねやま親善大使のアドゥアヨム・アヘゴ・アクエテレビ様による「1 人の人生が変われば世界が変わる」という演題で、日本での最新の義肢装具と福祉機器の研究により、祖国トーチと日本の結ぶ懸け橋になれ

た経験を語られました。

ロータリー米山記念奨学会の使命は、将来、日本と世界を結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することであることが強調されました。

参考事項:

○支給奨学金額: 学部課程: 10 万円、修士博士課程: 14 万円

○2021-2022 年度個人平均寄付額 34 地区中 3 位、寄付総額 5 位、

○2022 学年度米山記念奨学生合計 39 名(内継続生 12 名、新規生 27 名)

○国別人数

中国: 26 名、ベトナム: 6 名、台湾: 3 名、韓国: 2 名、ネパール: 1 名、トルコ: 1 名、

○大学別人数

共栄大学: 7 名、埼玉大学: 19 名、芝浦工業大学: 3 名、聖学院大学: 5 名、独協大学: 2 名、日本工業大学: 0 名、日本薬科大学: 1 名、文教大学: 2 名

○課程別学生数

学部課程: 20 名、修士課程: 10 名、博士課程: 9 名

○第 8 グループ米山記念奨学生:

越谷 RC: 潘雪辰(ハン セツシン)、越谷南 RC: 史雨琪(シ ウキ)、越谷北 RC: 王学朋(オウ ガクホウ)、越谷東 RC: 張政(チョウ セイ)

## スマイル報告

・本日セミナー報告、宜しくお願ひします。

大島 直幸

・先週はガバナー公式訪問例会にご協力いただきどうもありがとうございました。やっと涼しくなりましたら一転してむし暑いですね。くれぐれもご自愛ください。

江口 公晴



・8 月も今日で終わりですね。過ごしやすい気候になることを祈ります。

中澤 伸浩

・前回(G 公式訪問)を欠席してしまいご迷惑を掛けました。

青木 清

・世界平和のために

宮崎 敏博

・部門セミナー報告よろしくお願いします。

松崎 義一

・早く涼しくなれ!!

大熊 正行

・本日は8月度の最後の例会です。宜しくお願い致します。

中村 隆雄

・ゴルフで 100 を切りました。

吉田 実

・本日も宜しくお願い致します。

伊藤 純

・大阪に行くことになりそうです。よろしくお願いします。

小林 巧

・お久しぶりです。

高橋 陽一

・次週の例会はオンラインで参加します。

須賀 篤史



部門セミナー報告後は会長に委ねられました。



地区公共イメージ部門が発信する『未来の扉 クラブダイジェスト 8 月号』が放映されました。

【2022-23 年度 国際ロータリー第 2770 地区チャンネル】

「未来の扉」CLUB DIGEST8 月号

・募金活動の特集が行われています



<https://www.youtube.com/watch?v=LIHGWhMkDk>

是非ご覧ください！

### 出席報告

会員数	41 名
出席者	32 名
出席率	84.2 %

